

ソーシャルメディアと

ことばの支援 「あのとき」に起きた、 いくつかの「奇跡」から

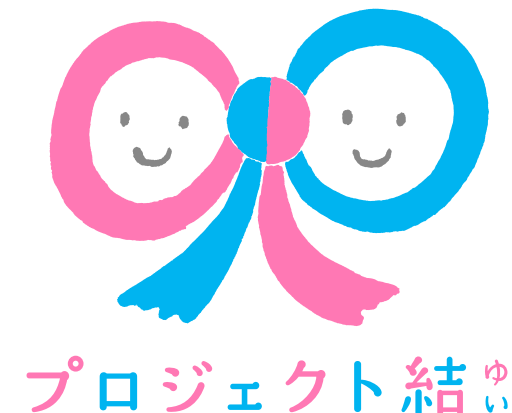
第39回 メディアとことば研究会@立教大学
慶応義塾大学SFC 政策・メディア研究科
修士 遠藤 忍



みなさま、はじめまして

2

- 遠藤 忍 (慶應SFC)
(えんどう しのぶ)
- 慶応義塾大学SFC 大学院
政策・メディア研究科
- 専門：外国語教育学？
- つい先日、修士になりました
- 社会言語科学会
第30回研究大会において
ポスター発表を実施、
明日、発表賞を受賞します



あ の と き

あのとき

||

2011.03.11. 14:46 '18

東日本大震災





兒童姓名 () 電話 ()
保護者姓名 ()

1年	組	2年	組	3年	組
4年	組	5年	組	6年	組



あ の と き

あのとき

何をしていましたか？

どんなことを考えていましたか？

「あのとき」に何が起きたか①

6

- 大学での被災、イベントスタッフ、帰宅困難、大学泊
- 携帯電話は不通⇔ネット回線は生きていた
- ソーシャルメディアを活用した情報のやりとり



USTREAM

- 個人による安否確認、交通やライフライン情報など
- 公的機関による情報発信 (@nhk_kabunなど)
- 「拡散」と「デマ」

「あのとき」に何が起きたか②

7

- ドイツ人短期留学生の受け入れ中、早期帰国の手配
- 外国語による情報提供の必要性
 - NHK Worldによるネットラジオでの情報提供
 - 公的機関や大学による外国語情報提供
 - インターネットを用いた草の根レベルでの情報発信
- 外国語による「祈り」のメッセージ

#prayforjapan

とにかく、なにかしなきゃいけない

ただでさえ不安のなか
外国人はもっと不安だろう

彼らの不安は
彼らの母語でこそ取り払われるべきだ

その時に出会った「prayforjapan.jp」

9



鶴田浩之



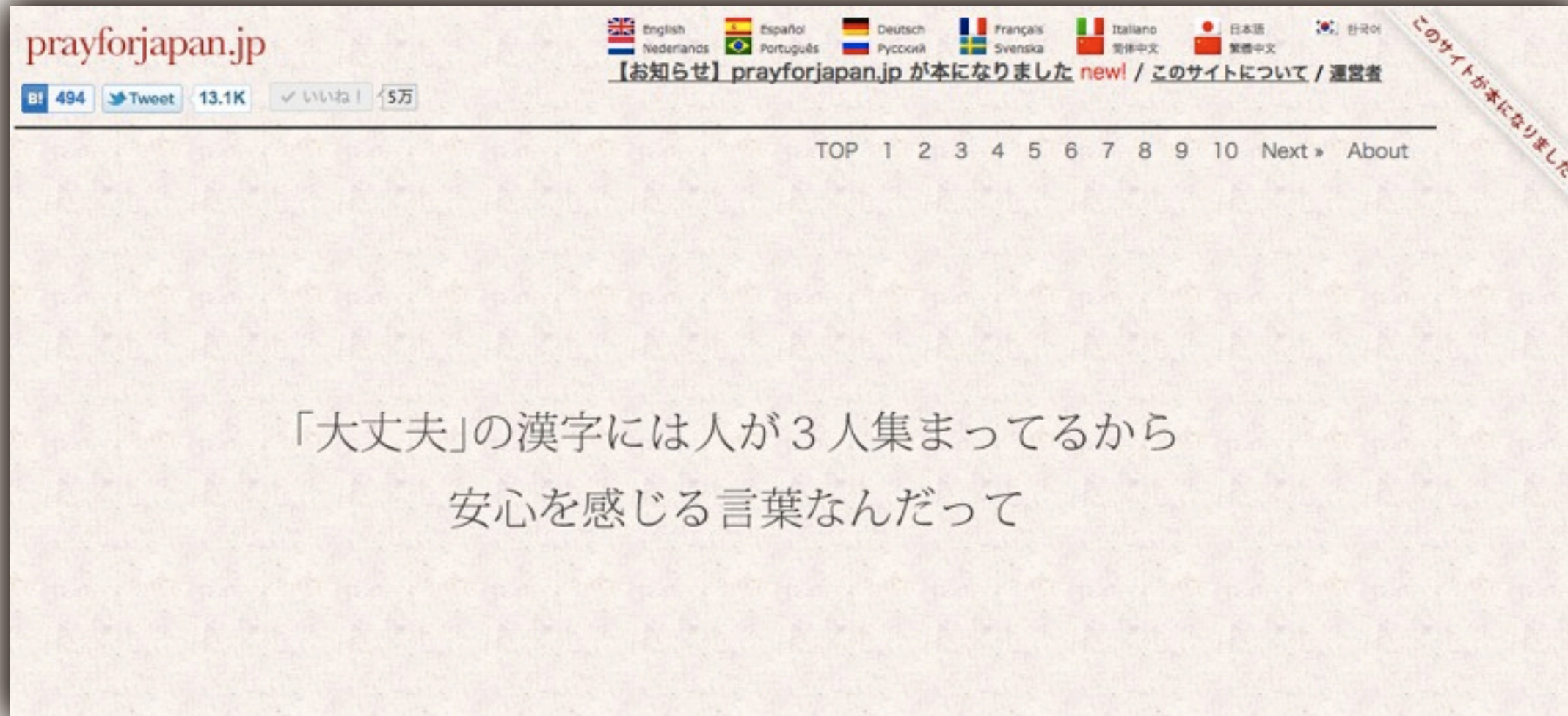
西尾健太郎

これは、日本の財産になる

地震発生から15時間後に、栃木の自動車教習所で制作される

その時に出会った「prayforjapan.jp」

9



鶴田浩之



西尾健太郎

これは、日本の財産になる

地震発生から15時間後に、栃木の自動車教習所で制作される

駅員さんに「昨日一生懸命電車を走らせてくれてありがとう」
って言ってる小さい子達を見た。
駅員さん泣いてた。俺は号泣してた。

物が散乱しているスーパーで、
落ちているものを律儀に拾い、
そして列に黙って並んでお金を払って買い
物をする。

運転再開した電車で混んでるのに妊婦に席
を譲るお年寄り。

この光景を見て外国人は絶句したようだ。
本当だろう、この話。すごいよ日本。

暗すぎて今までに
見たことないくらい星が綺麗だよ。
仙台のみんな、上を向くんだ

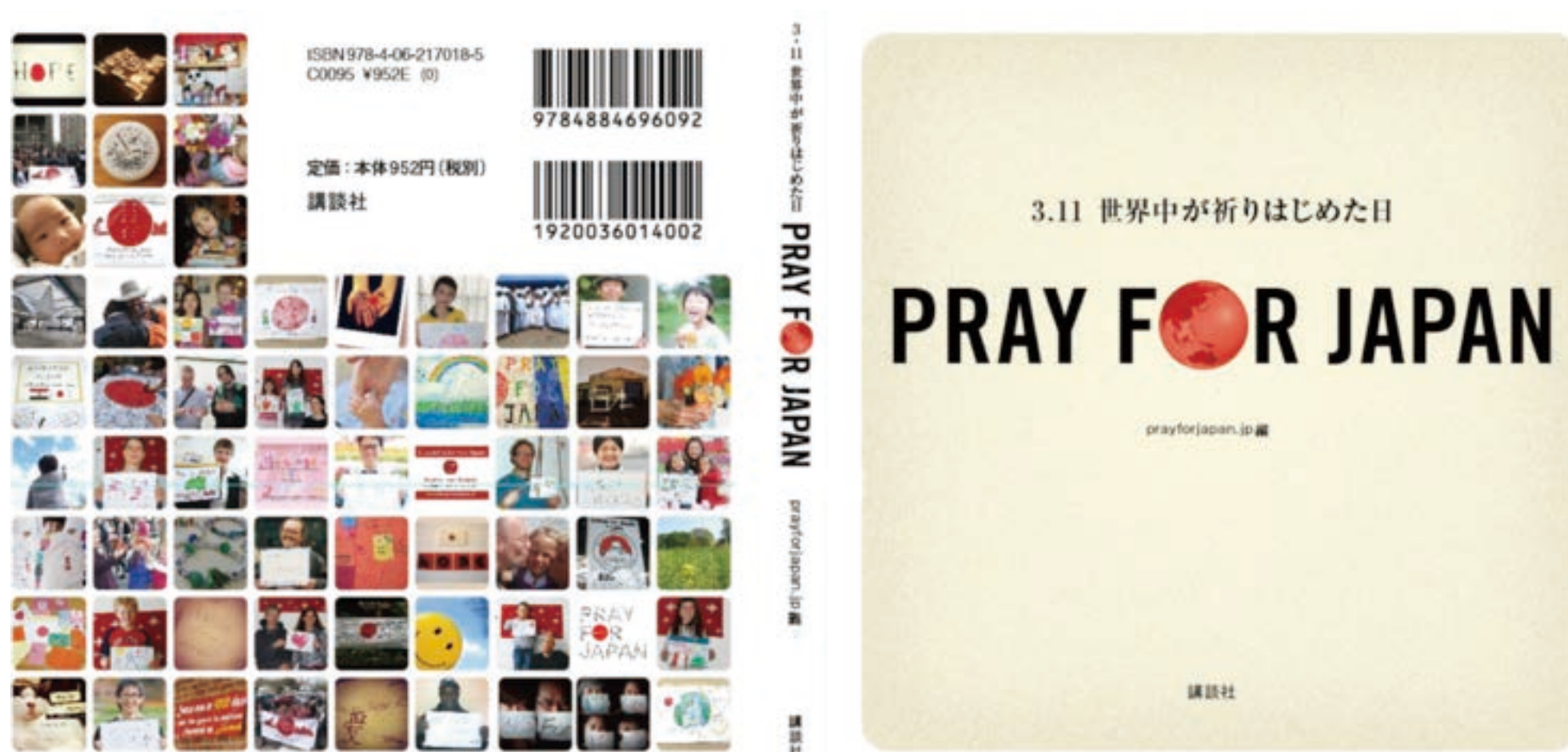
- #prayforjapanのついた **つぶやきと写真**をまとめ
- **心に残るつぶやき**を収集して掲載

HP 3,000,000 user

 150,000 tweet

 40,000 like / 48 hours

- #prayforjapanのついた
つぶやきと写真をまとめ
- **心に残るつぶやき**を
収集して掲載



4月12日校了・日英掲載・初版3万部・電子書籍化
印税は全て子どもたちに関係する活動に寄付

そして、翻訳が始まる

13

誰か一緒にやってくれる人いたらぜひやりたいです
RT @_mizka @mocchicc このサイトの英訳ver.はできませんか？英語圏のみなさんにも読んでもらいたい。

@mocchicc やるか、英語訳。
どれをやればいいかな？

2011/03/12 23:00ごろ～ 03/13 01:00ごろ

英・韓・中
での
翻訳作業の開始

⇒

13の言語
による
翻訳ver.の制作

- 3/13 英・中・韓での翻訳が開始。
Facebookの閲覧者たちによって翻訳が行われる。
- 3/14 翻訳衝突が発生。遠藤が「翻訳まとめ人」として
翻訳済み・未翻訳の整理を実施。
同時に、可能な限りの多言語翻訳を呼びかけ。
- 3/15 7つの言語に翻訳作業が拡大。
翻訳の作業をFacebookから別システムに移行。
- 4/11 31名の翻訳者により、13言語でコンテンツ提供。
日本語, 英語, 簡体中国語, 繁体中国語, 韓国/朝鮮語, フランス語, ドイツ語,
スウェーデン語, オランダ語, ロシア語, スペイン語, イタリア語, ポルトガル語
- 4/25 日・英2言語表記で書籍化。同内容の電子書籍版が
多言語版を収録して2012年2月に発売。
電子書籍版の翻訳までで97名の翻訳ボランティアが参加。
累計750万部の売り上げは、全額被災地に寄付された。



prayforjapan.jp · 54,547が「いいね！」と言っています。
2011年3月13日 0:25

✓ 「いいね！」しました

【中国語翻訳】 よろしくお願ひします <http://prayforjapan.html/tweet.html>

<http://prayforjapan.html/tweet.html>
prayforjapan.html

いいね！ · コメントする · シェア

👍 28人がいいね！と言っています。



Kristine Chan 上記のURLをクリックしたらエラーでした。 <http://prayforjapan.jp/tweet.html> ← + 「.jp」の方が正しいのでしょうか。
2011年3月13日 0:31 · いいね！



りあ <http://prayforjapan.jp/tweet.html> ですね
2011年3月13日 0:34 · いいね！



Sho Chang 翻訳したツイートをこのURLに投稿すればよいでしょうか？
2011年3月13日 0:36 · いいね！



りあ @smzasm 周運一片黑暗，才發現從未見過這麼美麗的星空。在仙台的大家，要往上看呀。[在當地的對話]
2011年3月13日 0:42 · いいね！



Kristine Chan ディズニーランドでは、ショップのお菓子なども配給された。ちょっと派手目な女子高生たちが必要以上にたくさんもらって「何だ？」って一瞬思ったけど、その後その子たちが、避難所の子供たちにお菓子を配っていたところ見て感動。子供連れは動けない状況だったから、本当にありがたい心配りだった

在迪士尼樂園的賣店，店員免費分發糖果零食給客人。有些打扮比較誇張的女高中生們拿了很多，那時候我不禁想“她們算什麼？”，但後來看到她們把這些糖果分派到避難所的小孩子，我感動了。因為帶着小孩的家長不能隨處走動，她們對人的關心真的讓人感謝。@unosuke
2011年3月13日 0:43 · いいね！ · 🍌 1



りあ @unouke 在迪士尼樂園，商店有在派發糖果。有些女高中生拿了很多的糖果，我當初也對她們很不滿，但當我看見她們拿了糖果以後，就派發給避難所的小孩，立刻就感動起來了。就是因為她們想到有家長要照顧小孩不能隨意走動拿糖果，這份心意真的很令人感動。
2011年3月13日 0:48 · いいね！

ダッシュボード

投稿 (新規追加)

すべて (21) | 公開済み (21) | ゴミ箱 (15)

簡体中国語 | 英語 (8) | フランス語 | ドイツ語 | 日本語 (36) | スペイン語 | 韓国語 (7) | ポルトガル語 (ブラジル) | 全言語 (51)

一括操作 適用 日付指定なし カテゴリー指定なし フィルター

タイトル	作成者
M9.0 世界最大級となったのか。じゃ、今後復興のためのエネルギーも愛も、世界最大級にしくちゃ。	admin
"暗すぎて今までに見たことないくらい星が綺麗だよ。仙台のみんな、上を向くんだ。"	admin
"Operation Tomodachi"	admin
家屋に取り残され、42時間ぶりに救出された高齢の男性の映像。「チリ津波も経験してきたから、だいじょうぶです。また、再建しましょう」と笑顔で答えていた。私たちが、これから何をすることが大事。	admin
千葉の友達から。避難所でおじいさんが「これからどうなるんだろう」と漏らした時、横に居た高校生ぐらいの男の子が「大丈夫、大人になったら僕らが絶対元に戻します」って背中さすって言ってたらしい。大丈夫、未来あるよ	admin

編集 | クイック編集 | ゴミ箱 | 表示

翻訳作業の実際

15

English Version ☆

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール ヘルプ 最終編集: 2011年7月8日 (PFJ.MLT さん)

fx | Page

	A	B	C	D	E	F
1	Page	status	catogory	Japanese	English	Last modifier
9	p.011	published	episode	「日本は今まで世界中に援助をしてきた援助大国だ。今回は国連が全力で日本を援助する。」	The United Nations commented on the disaster: "Japan has long helped people around the world as a major foreign aid benefactor. This time, the UN will do everything it can to assist Japan in its time of need."	book
10	p.013	done	episode_title	大丈夫。	DAIJOUBU	enshino
11	p.013	published	episode	「大丈夫」の漢字には人が3人集まってるから安心を感じる言葉なんだって @373ccho	The word DAIJOUBU (大丈夫 meaning "don't worry") is written with three Chinese characters, each with the symbol for person (人) in it. Because three people come together in this word, we feel reassured when someone says DAIJOUBU.	book
12	p.014	done	episode_title	勇気と正義	Bravery and Justice	sam
13	p.014	published	episode	2歳の息子が独りでシューズを履いて外に出ようとしていた。「地震を逮捕しに行く!」とのこと。小さな体に宿る勇気と正義感に力をもらおう。みなさん、気持ちを強く持って頑張りましょう。 @hirata_hironobu	My two-year-old son put on his shoes and tried to go outside, with a shout of, "I'm going to go arrest the Earthquake!" The courage and sense of justice residing in his tiny body gives me strength. Everyone, let's stand strong and get through this.	book
14	p.015	done	episode_title	マニュアル外	Not in the work manual	enshino
15	p.015	published	episode	東横線の車掌さん、アナウンスで「大変なことになってますが、ここが頑張りどころです。みんなで力を合わせて乗り切りましょう!」と。たぶん、マニュアル外だと思う。素敵だ(^^) @sumogoma	A conductor on the Toyoko Line made an announcement, "We're faced with difficult challenges, but now is the time for us to do our best. Let's work together and get through this!" I imagine that wasn't in his work manual. How wonderful!	book
16	p.016	done	caption	※カリブ海のセントビンセントからのメッセージ	※Message from Saint Vincent in the Caribbean Sea	sandie
17	p.017	done	episode_title	頑張り超頑張り	Stay strong, stay very strong/ Hang in there! Hang on!	enshino
	p.017	published	episode	韓国人の友達からさっききたメール。「世界唯一の核被爆国。大戦にも負けた。毎年台風がくる。地震だってくる。津波もくる。.....小さい島国だけど、	I just got a message from my Korean friend: "You're the only country in the world to have fallen victim to nuclear attacks. You lost the Second World War. Every year there are typhoons. Earthquakes happen. You're even struck by tsunamis.	book

+ ≡ シート1

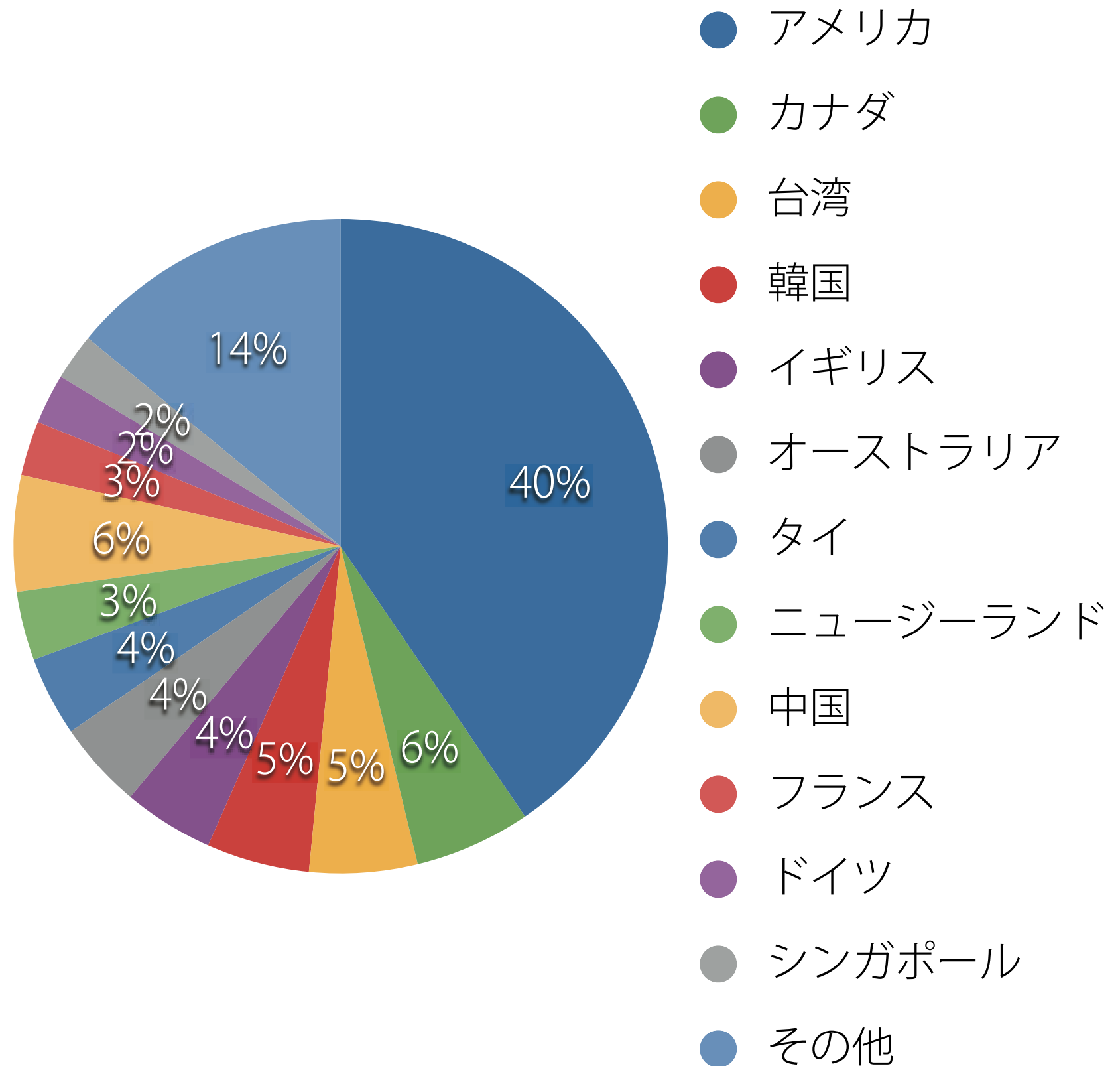
- 自分のできることを、できる範囲で行ってください。無理はしないでください。
- もともとの日本語のニュアンスやエピソードの想いをくみとって翻訳してください。
- ボランティアスタッフへのリスペクトを忘れずに協力し合って作業してください。

- 顔の見えない「素人」どうして作業がなされた
- たびたび起こる翻訳衝突からメンバーを絞った
- 過度な負担を避けるためにシステムを変更した

世界からの言葉を
届けたい

世界に感謝の意を
示したい

在日外国人の
不安を和らげたい



- たった1夜でサイトができた
- 2日以内に翻訳が始まった
- 10日で12の言語が集まった
- 顔の見えないメンバーの協働が起こった
- 書籍になって展開し、有名人にも認知された

- プロの翻訳家ではなく学習・生活での使用が前提
- 翻訳量のばらつき
- 作業強制ができず参加者の動機づけを高めづらい
- 本当に届けたい人にメッセージが届いているのか

奇跡に近いこの活動を研究として残し
後世に活かすことが研究的実践家の役割

- 英語版に基づく翻訳の実行が欧州言語において見られた
 - 英語版が最も進捗が良く母語話者の参加で質が高かった
 - 欧州言語担当者は英語を第1外国語とする人が多かった
- 語彙や文化的差異の対応が、読み手を意識すると困難
 - 感情を伴う表現や、日本語特有の慣用表現への対応
 - 参加者は意訳の実行や注釈による対応を行っていた
- 140字の「つぶやき」には主語や語彙の省略が多発
 - 主語脱落への対応や文脈判断による補充の必要性
- 外国語を通じた支援の可能性から無力感を払拭
 - 在外邦人が抱いた罪悪感が、支援の実感から払拭された
 - 自身の外国語スキルが支援に繋がると思っていなかった

- 組織化された団体による支援の事例
 - **FMわいわい**
阪神淡路大震災時の多言語コミュニティFM
災害情報の多言語提供から多文化共生の担い手へ
 - **仙台市災害多言語支援センター（仙台国際交流協会）**
FMラジオ放送(FMわいわい支援)や避難所巡回などを実施
インターネットを用いた災害支援情報の発信
国際交流協会職員＋「災害時言語ボランティア」
 - **多言語災害情報支援サイト**
東京外国語大学多言語・多文化教育研究センターが運営
教職員やOBOGによる翻訳ボランティア126人が、
計21言語に災害に関する情報を翻訳・掲載

- インターネットを介した支援の事例
 - **Japan earthquake how to protect yourself**
 - 「地震発生時緊急マニュアル」を44言語に翻訳して掲載し、最多時点で11万アクセスを得た
 - 翻訳ボランティアは大学生の友人関係、SNSで活動を知った閲覧者など、100名程度の見ず知らずの人
 - **世界から日本へ1000のメッセージ**
 - インターネットで寄せられた外国語による応援のメッセージをオープンに翻訳してもらい掲載
 - 日本語に翻訳された原稿をコアメンバーが掲載する方法

- 「ことばの支援」の共通点
 - 外国人の不安の払拭が目的
 - 英語に限らずできるだけ多くの言語での翻訳
 - 翻訳すべき情報を集約するコアメンバーとそれを翻訳する翻訳参加者の役割分担
- 翻訳体制による相違点
 - 組織化体制：トレーニングと質の保証、継続的支援
 - 見ず知らず：スピード性、伝播性、多くの市民の参加
←ソーシャルメディアの特性には長短どちらもあ

- フェーズのちがいによる、伝達されるべき情報
 - 緊急期：とにかく逃げろ、なんとかして生き延びろ
 - 復旧期：避難所生活情報、ライフライン情報、安否確認
 - 復興期：生活の心的安定と経済的安定
- 現地における情報伝達ツールの選択
 - 発災後72時間は、「やさしいにほんご」で伝達されるべき
避難所では、まず紙とペン、そして掲示板
 - 情報の集約・整理・伝達の橋渡しに混乱が起きる
被災地外の人間がソーシャルメディアで担える役割

- 緊急時には「立場」や「専門」は関係なく
まず**とにかく動いて実際に現場を見る**ことが必要
- それでも言語の専門家は、情報の整理・集約・翻訳の
方針決定や**実際の作業**において知見を活かせる
- インターネット上の「住人たち」がすぐにでも動ける
わかりやすいグラントルールをつくる
- 「あのとき」に起きていた「奇跡」を整理する研究の必要性
 - ソーシャルメディアでの情報拡散の現象
 - 緊急時に本当に伝えやすい伝達メディア

人々の不安を
やわらげる

「あのとき」のことを
風化させない

「なにかしたい」を
呼び起こす

言語学のこれまでの積み重ねは
災害という緊急時において
どのように活かされるべきでしょうか

それを活かすうえで
ソーシャルメディアという新しい媒介に
何を期待しますか

ちょっと前より夜の暗さを感じる。

ずっと前はそうだった。

ちょっと前より人の温かさを感じる。

ずっと前はそうだった。

ちょっと前より強くなった。

ずっとこれから諦めない。

- 青山 亨・杉澤 経子. 2011. 日常の活動やネットワークを活かして災害情報を多言語で提供 ― 東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター. 国際人流, 24(7), 7-9.
- 金 千秋. 2012. 阪神・淡路大震災から東日本大震災へ多文化共生の経験をつなぐ ― 地域における多言語放送が多文化共生社会構築に果たせる可能性. GEMC Journal, 7, 36-47.
- 佐藤 和之. 1999. 震災時に外国人にも伝えるべき情報 ― 情報被災者を一人でも少なくするための言語学的課題. 言語, 28(8), 32-41.
- 佐藤 久美・岡本 耕平・高橋 公明・田中 正造・山岡 耕春・宮尾 克. 2004. 「地震災害における外国人の被害と災害情報提供」『社会医学研究』 22, 21-28.
- 杉原 達. 1996. 阪神大震災と多言語放送 ― ミニFM局の意義. 言語, 25(8), 88-93.
- 須藤 伸子. 2011. 東日本大震災の外国人被災者支援 ― 仙台市災害多言語支援センターの活動から. 自治体国際化フォーラム, 262, 14-16.
- prayforjapan.jp . 2011. PRAY FOR JAPAN ― 3.11 世界中が祈りはじめた日. 講談社.
- Wakamonoiz編集部. 2011. How to protect yourself. (2012. 7.1参照) <http://wakamonoiz.wordpress.com/2011/10/06/how-to-protect-yourself/> .

- ・若い人間たちの行動は多かった
- ・そのときの奇跡の力がもっと発展出来るかもしれない
- ・フェーズの違いの理解：メッセージを必要とするときと、救命・救援が必要になるときは違う
- ・3月12日の雪景色では助けを待っていた＝メッセージではなく助けに向かった知らせが欲しい
- ・行政も混乱する（規制線すら張られる状況）：何をどこに持っていけばいいかの情報の翻訳
- ・日本人に必要なだった外国語情報：原発報道に関する情報などで行動判断できるように
- ・かつてのモデルは助けられるとともにミステイクになる（都市部と過疎部の違い）
- ・市民参加型の災害情報共有システムの研究
- ・日本語の情報・つぶやきをどんな人がやっていたか？
 - ⇒留学生も1/4～1/3くらい。海外に住まれている日本人もいた。学部課程の人もいた
 - ⇒素性はやはり分からない状態で行った
- ・日本語の特殊性があったからこそ起きたのだろうか
- ・外国人が少ないところでは多言語化の必要はなく、やはり日本だから起きたのだろうか
- ・言語学はなにができるのか：「動かなきゃダメ？」
- ・子どもたちを守らなきゃいけない、情報を整理しきれない、という状況
- ・「私だってショックだった」という同じグループへ入ろうとする現象
- ・「被災地外は感情を共有するべきだ」という感覚はインターネットやUstreamからだった